

令和4年8月24日

令和4年度 2学期始業式 校長あいさつ

- おはようございます。校長の都丸です。いよいよ2学期が始まります。
- 現在、新型コロナウイルス感染症の第7波がまん延しており、県内でも高校生の感染が広がっている状況です。一人ひとりがしっかりと意識をもって感染対策にあたる必要があります。とにかく手洗い・手指消毒、うがい、マスクの着用、ソーシャルディスタンスに取り組んでください。
ただし、マスクの着用は運動時や屋外で、ひとりのときなどは外しても構わないということです。人と会話をしたり、屋内の閉め切り状態だったり、人混みの中に身を置くときはマスクを着用することです。
- さて、一昨日、気象庁が2022年の夏の猛暑は「異常な状態だった」という見解をしめしました。
- 6月7日に、経済産業省が今年の電力需給に関する対策を発表し、今年の夏は、電気使用を抑えるよう国民に周知していましたが、実は、3月に電力需給ひっ迫警報が既に発令されていました。
- 原因は、ウクライナ情勢の影響により燃料の調達が難しくなっていること、さらには、ことしは10年に一度の猛暑であることが想定されていたの見通しだとのことでした。
- 「みなさんは、何か自分自身で意識して取り組んだことはありますか？」
- 7月から暑い日が続き、熱中症で命の危険リスクがあるために、家でも街中でもエアコンは必需でしたね。
- これまでも電気に対する依存は多かったと思いますが、近年は、さらにスマホ、タブレットの普及や脱炭素で電気に頼ることもこれまで以上に多くなってきているのではないのでしょうか。
- 私は通勤で海老名を通りますが、小田急線から相模線に繋がる通路の「動く歩道」は、現在、動いていません。
- 少し、涼しくなってきたことや、日々の慌ただしさで「電力ひっ迫警報」のことを私自身も忘れていたので、はじめは「なぜ？故障中？」と思いました。しかし、この「？（はてな）」はすぐに解消されました。「動く歩道」の足元には、「省エネ」との記載があり電力ひっ迫を思い出したからです。
- この取組を皆さんは、どう思いますか？
- 私としては、とても有効な取組だと思いました。一つは、社会問題としての電力ひっ迫に対する対策として、不自由さはあるけれども、必ず必要ではない「動く歩道」の停止は、省エネ対策としては有効だと思いました。

- もう一つは、個人的な考え方ですが、前向きな考えを得ることができたことです。このところ時間を作れずに運動ができていないことに課題を感じていた私でしたので、少しですが、「じゃあ歩こう！」「運動しよう」という気持ちになれました。
- 遅くなりましたが、今日は、みなさんに2つのことを伝えたいと思っています。
- 一つ目が、その「? (はてな)」ということです。みなさんは、日ごろ生活する中で、「? (はてな)」と思うことはありますか？
- その「? (はてな)」や「なぜ?」「どうして?」と感じた時にどうしていますか。
- 「まあ、いいや」とそのままにせず、できれば「なるほど」や「そうなんだ」くらいまでは、興味を示してもらいたいと思います。広く社会に目を向けてもらいたいなと思います。
- そして大きく心を揺さぶられたものには、必ず深く、徹底的に調べてもらいたいと思います。
- 二つ目は、日ごろの生活の中で前向きにとらえることを習慣づけてもらいたいということです。「ダメ」とか「無理」ということを言わず、コロナ禍でも「毎日の大切さに気づいた」ように、物事を前向きにとらえてもらいたいと思います。そうすることで取り組み方が大きく変わってきます。
- 相模田名高校では、今年度からシチズンシップ教育の研究推進校に指定されました。シチズンシップとは「しっかりと社会参加ができること」です。
- 社会に目を向け、日ごろの「? (はてな)」に興味を持ち、そして前向きにとらえられるようにしてもらいたいと思います。
- さあ、2学期が始まります。相模田名高校のキャッチフレーズは「未来への挑戦～やる気・元気・勇気～」です。2学期も明るく、しっかりと前を向いて何ごとにもチャレンジしていきましょう。
- 3年生の諸君は、自らの進路希望に向けて全力で取り組んでください。